平成22年 回定例会

2日~9月22日

がしくるめ

平成22年(2010年)

発 東久留米市議会事務局 72 0 3−8 5 5 5 東久留米市本町3 話 042(470)7 7 7 7

会報編集委員会 議

市ホームページ

結果は4面をご覧ください (意見書・決議案を含む)16件、 「東久留米市基本構想の制定」「市立学校設置条例の一部を改正する条 平成22年第3回定例会は9月2日から22日までの会期で開催され、

平成22年度各会計補正予算など、

請願18件を審議しました。

市長提出議案1件、議員提出議

\#\#\#\#\#\#\#

22年度一般会計

http://www.city.higashikurume.lg.jp/

まちの将来像

導くものです。 なるもので、分野ごとに策 年間のまちづくりの指針と 定される個別計画の方向を 合計画基本構想は、今後10 まちの将来像、まちづく 東久留米市第4次長期総

の基本目標、基本構想実現 のため、基本的な施策、 ださい。 課(市役所4階)でご覧く を掲げ、まちづくりの指針 口と土地利用に関する方針 りの基本理念、まちづくり となるものを示しています。 基本構想の全文は、市ホ ムページまたは企画調整

れているのか。 質問 想の内容と差異はない。 くりの理想像が、この基本

げ、盛り立てていこうとい

うことであると理解してい

市制施行40周年記念平成22年度東久留米市表彰式典

市制施行40周年にあたり、市政の発展に尽力され、特に多大な功績 のあった方が特別功労者として表彰されました (=10月1日、生 涯学習センター)

付き一般競争入札を行った。

札サービスを利用した条件 超える案件のため、電子入

質問

約1年にわたる工事

【本会議の質疑より】

9月2日の本会議で審議

だが、近隣住民への説明等

定の社会的な姿勢を考慮し

決定しているが、環境や

市 基本構想を制定

号)」は9月15日の予算特別

質問

般会計補正予算 (第2

「平成22年度東久留米市

というもの

委員会で審査され、議員よ

成多数で可決されました。 日の本会議で審議され、賛 制定」については、9月2 「東久留米市基本構想の 質問 【本会議の質疑より】 市長の考えるまちづ

日の本会議では、委員会の

結果の通り賛成多数で修正

可決されました。

修正案の内容は、今後の

で可決されました。9月22

いが、

多数で可決、修正部分を除 り提出された修正案を賛成

く原案については全員賛成

ている通りであり、基本構 所信表明、施政方針で述べ 市長 まちづくりの思いは 構想にどのように組み込ま

市長 例えば、地域力の向 どういう思いなのか。 づくり、市民力を盛り上 上、その支援、協働のまち あるまち」と変えている。 ら「自然 つながり 活力 と緑とふれあいのまち」か 「活力」をプラスしたのは まちの将来像を「水

> 振興基金積立金を増額する 0円減額し、その分、教育 金を4億1876万800 出のうち財政調整基金積立

「平成22~23年度前沢雨

札を行い、飛島建設株式会 37万5900円で落札決 社八王子営業所が4億20 24日に条件付き一般競争入 定し、8月26日に仮契約を 水幹線築造工事の請負契約 き契約および財産の取得ま 締結。議会の議決に付すべ の締結」については、8月 たは処分に関する条例に基 つき議決を求めるもの。 工事予定価格が5億円を ました。 する。 され、賛成多数で可決され

申請、入札した39者すべて が地方自治法施行令および の最低制限価格での入札と されていた予定価格の70% 東久留米市契約事務規則に なり、法に基づき電子上の **基づき設定され、事前公表** 迎バスの安全対策は。 答弁 議決後、業者と一緒 あれば場を設けたい。 行き、説明会開催の要望が に沿道の住民にあいさつに は行うのか。 近隣福祉施設等の送

くじ引きを行った結果、

通常は小金井街道か

前沢雨水幹線築造工事 請負契約を締結 め

目の各一部区域23・5 診お 前沢三丁目、南町二・三丁 冠水を軽減する目的で整備 の16・2 診の雨水を排水し、 りに雨水管を整備するもの。 記の事業所が落札した。 長年にわたる恒常的な道路 よび小平市花小金井三丁目 工事は、市道の柳新田通 業者は入れなかったのか。 質問

かった。 がAランクに該当する案件 だが、該当の市内業者はな 質問 最終的にくじ引きで 下水道施設工事の共同格付 いため、入札に参加できな **答弁** 予定価格の関係で、

るが、環境面の配慮までは 業者の条件、入札条件はあ 答弁 一定の規定の中での 調査していない て判断したのか。 の 号

内容案内

提出議案・審議結果、意見書・請願など・・・・4面議員提出議案2件を可決・・・・・・・・・・・4面学校設置条例の一部改正・・・・・・・・・・・4面一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

協会、体育協会等の意見を PTA、社会教育委員、文化 **答弁** 22・23年度に内部検 どのように策定されるのか。 聞きながら進めていきたい。 討委員会において、校長会 画を含めた教育推進計画は 質問 特別支援教育推進計 旧保健福祉センター

た。東京都もこれらの要望 や統合準備会の要望もあっ を理解してくれた。 を残してほしいとの保護者

らず、

新たな公の施設とし 用の有効策は見当た

補正予算を修正可決

備品のために積み立てした 施設整備や学校での大きな の差、約7億円は学校教育 称教育振興基金への積立額 【委員会の質疑より】 第八小の売却益と仮

答弁 教育予算、法改正に 設置についての経緯は。 質問第八小の閉校記念碑 化、財源不足に充てる。 伴うシステムの改修・最適 使い道は。

教育長 第八小にかかわっ 生、地域の方の貢献に対し、 た方、在籍した児童・卒業 学校が存在した歴史・足跡 持ちもあり、また、ここに 市、教育委員会の感謝の気

する必要があるとして、歳

教育振興基金の増額を措置 教育施設の整備を図るため、

> かつ 政的 答弁 せる などの 質問 防装備を購入したい。 な状況に備え、消防団の水 え、市職員だけで対応困難 ての利活用も難しいため、 と 肢である。 遊休資産として民間に売却 家雨による被害を踏ま の予算は当初予算に乗 た。

> 都内での

> 局地的な いきではなかったか。 いくことが一つの選択 消防団の雨具や長靴

資産の利用」も踏まえ、5 報告書の方向性に即した跡 月以降、庁内調整した結果、 告書が出ているが、

3月の と思うが、考えは。 の残債を一括償還するのは、 利用は非常に難しい状況。 市長の施政方針での「遊休 答弁 平成19年に検討し報 跡利用計画ができてからだ 回臨時会での22年度予算に

質問 整したい。 設の利用状況等を含めて調 らの出入りは問題ない。施 小平市との財政案分 の。 図るため条例を制定するも 対する付帯決議を受け、学 基金を創設し、その運用を 校教育の振興を目的とする

万円、23年度は38・28%、 度は34・52%、約3900 平市からの収入額は、22年 金をいただく。負担率、小 4900万円程度である。 指名39者の中に市内 面積案分で建設負担 通りで りまり 審査の結果、賛成多数で継 し出および陳謝の発言があ て、市長から条例撤回の申 続審査となりました。 9月 9月 した。主な内容は次の

722日の本会議におい

成多数で可決されました。

を10%減額するもので、賛

があるため撤回する。この 円滑な運営に支障を来し、 ような 例の使途を明確にする必要 意見を踏まえた結果、本条 掛けたことを心からおわび 市議会および市民に迷惑を したい。撤回した条例案に し、自らの責任を明らかに 総務委員会審査段階での ては内容を精査し改め は事態を招き、議会の

時候のあいさつ状や議員の 寄付行為は禁止されています

議員は、選挙区内の人に年賀状等 のあいさつ状(答礼のための自筆に よるものを除く)などを出すこと、 お金や物を贈ることは禁止されてい ます。ご理解をお願いいたします。

金条例」については、第3 「東久留米市教育振興基

月に支給する市長給料月額 関し、自らの責任を明らか ては、今議会の議案審議に にするとして、平成22年10 「東久留米市特別職の給

73日の総務委員会で

再認識し、議会との信頼関 部を改正する条例」につい 係を一層深めるべく最大限 の努力をしたい 料の特例に関する条例の一

当たっては、その重要性を

於育振興基金条例撤回 ②環境審議会に諮問し、現 況は。 宣言については、市民の盛 在、市民環境会議との協力 の修復を徐々に行うととも 答弁 ①欄干のさびや塗装 オーラム全国大会・ロひがし 質問 り上がりが課題である。 をいただき検討している。 の方法を考えていきたい。 に、橋の構造体の状況確認 清流保全都市宣言の検討状 備をお願いしたい、②湧水・ ①この機会に橋の点検・整 くるめ」が開催されるが、 12月に「湧水保全フ

厳しく予算化されな 予算要求はしたが財

市長給料1カ月減額 て提案する。議案の提案に